

一年生の皆さん。入学おめでとうございます。
皆さんは今日から、高洲第三小学校の一年生です。

皆さんには、五十人のなかまができました。そして三百二人のお兄さんお姉さんも一緒です。
高洲第三小学校、三百五十二人で仲良く生活しましょう。

みなさんはこれから、今よりもっと早く走れるようになります。
今よりもっと背が高くなります。今よりもっと読める本が増えて、わかることが増えます。
「できること」がたくさんになるのです。

今日は、その中でも私が一番みなさんに「できるようになってほしいこと」を話します。

それは、「仲良くする」ことです。
みなさんは、友達と仲良くしていますか？
お父さんやお母さんと仲良くしていますか？
先生たちとは仲良くしていましたか？

もっと仲良くできるようになるために、大切な言葉を教えます。私の後に続いて言ってみましょう。

「ありがとう」

「一緒にやろう」

「ごめんね」

「うん、いいよ」

大きな声で言えましたね。覚えておいてくださいね。

今から、お父さん、お母さんに話をします。少し難しいですが一緒に聞いていてください。

保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。

今朝、三年生の男の子が私に駆け寄ってきて言いました。「校長先生！知ってる？今日ね僕の妹が入学してくるの」もう、満面の笑みです。妹の入学を喜ぶ気持ちがあふれていました。小さなお兄さんでもそうなのですから、きっと皆さんはうれしく、誇らしい気持ちでいっぱい、親としての幸せをかみしめておいでのことと存じます。けれども、それと同時に、心配や不安な気持ちもあるのではないのでしょうか。

今日は、みなさんのお心に留めておいてほしいことをお伝えします。

それは、「皆同じ」ということです。

子ども達が十人十色であるように、保護者の皆さんもさまざまです。けれども「わが子の成長を願う」という点においては、どなたも変わることがありません。

「皆同じ」なのです。

六年間には様々なことが起きます。そしてそれはうれしいこと、良いことばかりとは限りません。

子ども達が望まない出来事があったとき、周りにいる私たち大人が、どのように反応するかで、かれらのとらえ方は変わります。

成長の糧として受け止め、乗り越える力を得るか、不満を訴えて、そこに立ち止まるかは私たち次第なのです。

先ほど、私が子供たちと一緒に言った言葉を思い出してください。

感謝を伝え、力を合わせ、非があれば謝罪して、それを許す。あの言葉は、私たちおとなにとっても大切なことです。

私たちが「わが子の成長を願うのは皆同じ」であることを忘れず「仲良く」すること、大人としては「信頼関係を築くこと」を心がけていれば、子ども達はどのようなことに出会っても、それらを前向きにとらえて成長していけます。

皆様がお互いに、そして私たちと「子供の成長を願う」という思いを共有し、互いに敬意をもって接し「未来の大人を育てる」という課題に挑戦してまいりましょう。

どうぞ、よろしく願いいたします。

一年生のみなさん、待っていてくれたおかげでうちの人にたくさん話せました。

「ありがとう」

では、あしたから、元気に三小に来てください。友達やお兄さんとお姉さん、先生たちと、仲良く生活しましょう。

以上をもちまして、式辞といたします。

令和五年 四月十一日 千葉市立高洲第三小学校

校 長